

令和 5 年度事業報告

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 3 1 日までの事業概要は、以下の通り。

【 1 】 社員総会

[1 - 1] 第 6 4 回定時社員総会

- (1) 開催日時 令和 5 年 5 月 19 日(金) 14 時 00 分～15 時 00 分
- (2) 開催場所 KKR ホテル東京 11 階会議室「白鳥の間」
住 所 東京都千代田区大手町 1 - 4 - 1
- (3) 出席者 社員総数 22 社 出席社員 15 名 (委任状の提出者 7 名)
- (4) 議案

第 1 号議案 令和 4 年度事業報告承認の件

事業報告書に基づいて概要説明を行った後、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を諮ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 2 号議案 令和 4 年度収支決算報告承認の件

計算書類に基づいて説明が行われた。その後監事を代表して大串監事より監事報告がなされたうえで、議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を諮ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 3 号議案 令和 5 年度事業計画承認の件

令和 5 年度事業計画について説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を諮ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 4 号議案 令和 5 年度収支予算承認の件

令和 5 年度収支予算について議案資料に基づき説明が行われた。議長が質問意見を求めたが特に発言がなく、続いて議長が承認を諮ったところ異議無く原案通り可決承認された。

第 5 号議案 任期満了に伴う理事及び監事選任の件

本総会終結の時をもって理事及び監事全員の任期満了となり、新たに理事 12 名、監事 2 名を選任する件について議長が意見を求めたが特に発言が無かった為、兼次専務理事から事務局案が説明され、議長が承認を諮ったところ異議無く事務局案通り可決承認された。

理事の新任は 2 名で、10 名は重任となる。また監事は 2 名とも新任である。

○ 理事選任候補者

法人名	氏名	役職	記事
日本信号(株)	塚本英彦	理事	重任
(株)京三製作所	國澤良治	理事	重任
大同信号(株)	佐藤盛三	理事	重任
(株)一誠電機製作所	今川英明	理事	重任
(株)大館製作所	中田直文	理事	重任
(株)三工社	宗方江一郎	理事	新任
東邦電機工業(株)	村田章臣	理事	重任
(株)西村電工	久米 聡	理事	重任
(株)てつでん	大串裕郁	理事	新任
(株)峰製作所	峰 敏晃	理事	重任
吉原鉄道工業(株)	小宮山 憲一	理事	重任
(一社)信号工業協会	兼次豊明	理事	重任

○ 監事選任候補者

法人名	氏名	役職	記事
信号器材(株)	前島敏雄	監事	新任
日本産業(株)	中上宗嗣	監事	新任

本総会の終結の時が新旧理事・監事の交代時期となる。

以上をもって第 64 回定時社員総会提出議案の審議は全て終了し、15 時に閉会した。

[1 - 2]第 64 回定時社員総会 総会行事

開催日時 令和 5 年 5 月 19 日(金) 15 時 30 分～18 時 30 分

(5) 令和 5 年度表彰式 (信号貢献賞・信号功労賞)

(6) 記念講演会

講師 日本大学 理工学部 教授 ^{たかはし} ^{せい} 高橋 聖 様

演題 AI が革新する鉄道分野・最新事例と展望

(7) 懇親会

ご来賓をお招きし、約 130 名の参加者もと盛会裡に開催された。

【2】理事会

[2-1] 第1回理事会

- (1) 開催日 令和5年5月19日(金) 13時30分～14時00分
- (2) 開催場所 KKR ホテル東京 11階会議室「白鳥の間」
- (3) 出席者

理事総数 12名	監事総数 2名	合計 14名
出席理事 11名	出席監事 2名	合計 13名
- (4) 議案

第1号議案	令和4年度事業報告承認の件
第2号議案	令和4年度収支決算報告承認の件
第3号議案	令和5年度事業計画承認の件
第4号議案	令和5年度収支予算承認の件
第5号議案	任期満了に伴う理事及び監事選任の件
- (5) 審議及び決議

提出された第1号～第4号決議議案はすべて可決承認され、第5号議案も異議無く承認され、社員総会への付議が了承された。

[2-2] 第2回理事会

- (1) 開催日 令和5年5月19日(金) 15時00分～15時10分
- (2) 開催場所 KKR ホテル東京 11階会議室「白鳥の間」
- (3) 出席者

理事総数 12名	監事総数 2名	合計 14名
出席理事 12名	出席監事 1名	合計 13名
- (4) 議案

第1号議案	代表理事（会長・副会長）及び専務理事選定の件
第2号議案	賛助会員 代表者交代の件
- (5) 審議及び決議

第1号議案は議案書に基づき審議した結果、以下の通りとなった。
また同氏らは就任を承諾した。

○ 代表理事選定候補者

法人名	氏名	協会役職	記事
(株)京三製作所	國澤良治	代表理事・会長	重任
日本信号(株)	塚本英彦	代表理事・副会長	重任

○ 専務理事選定候補者

法人名	氏名	協会役職	記事
(一社) 信号工業協会	兼次豊明	専務理事・事務局長	重任

第 2 号議案は(株)明星電気商会より代表者の変更届が提出された報告があり承認された。

[2 - 3] 第 3 回理事会

(1) 開催日 令和 5 年 11 月 15 日(水) 15 時 00 分～16 時 00 分

(2) 開催場所 日本信号株式会社 本社 会議室
東京都千代田区丸の内 1-5-1 新丸の内ビル 13 階

(3) 出席者

理事総数 12 名	監事総数 2 名	合計 14 名
出席理事 11 名	出席監事 0 名	合計 11 名

(4) 議案

第 1 号議案	令和 5 年度上期事業報告承認の件
第 2 号議案	令和 5 年度上期決算報告承認の件
第 3 号議案	令和 5 年春・秋の叙勲受章者の件
第 4 号議案	令和 6 年春の叙勲候補者推薦承認の件
第 5 号議案	「鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会」の解散と「鉄道信号用装置・機器の耐用寿命に関する検討書」(改訂第 5 版) 発行について

(5) 審議及び決議

提出された第 1 号～第 4 号決議議案はすべて可決承認され、第 5 号議案も異議無く承認された。

[2-4] 第4回理事会

(1) 開催日 令和6年3月27日(水) 15時30分～17時00分

(2) 開催場所 株式会社京三製作所 東京事務所 会議室
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ-B 棟 5階

(3) 出席者

理事総数 12名 監事総数 2名 合計 14名

出席理事 12名 出席監事 1名 合計 13名

(4) 議案

第1号議案 令和5年度事業報告承認の件

第2号議案 令和5年度収支決算報告(予測)承認の件

第3号議案 令和6年度事業計画(案)承認の件

第4号議案 令和6年度収支予算(案)承認の件

第5号議案 令和6年秋の叙勲候補者推薦の件

第6号議案 令和6年度信号貢献賞・信号功労賞候補者承認の件

第7号議案 運営幹事交代の件

(5) 審議及び決議

提出された第1号～第4号決議議案はすべて可決承認され、第5号～第7号議案も異議無く承認された。

【3】運営幹事会(令和5年度)

運営幹事会の構成

幹事長 藤原 健(日本信号)、嶺 孝志(京三製作所)、上田 卓正(三工社)、小林 浩明(信号器材)、平井 俊雄(大同信号)、梅原 岳久(てつでん)、村田 崇臣(東邦電機工業)、中島 勇(吉原鉄道工業)以上8社8名及び協会事務局2名の計10名で構成。

令和5年度は、第1回～第10回を全て協会事務所での対面会議で開催した。

1. 第1回(R5.4.27)

(1) 令和4年度3月度月次決算報告及び令和3年度通期決算報告

期末の累計収入の合計は予算比で99%、累計支払い合計は、予算比で96%となった。コロナ禍の影響で一部の行事を縮小したため支払いが予算を下回った。

(2) 令和3年度第4回理事会

会議録にて報告

- (3) 第 64 回定時社員総会・令和 5 年度第 1 回・第 2 回理事会について
5 月 19 日開催予定である社員総会、第 1 回・第 2 回理事会と総会行事は通常議案のほか、任期満了に伴う役員改選期に当たり、理事・監事全員の選任議案を上程する。
- (4) 第 64 回定時社員総会行事について
表彰式・記念講演会・意見交換会は通常的方式で実施する予定である。
- (5) 会報第 52 号編集委員会
コラムは信号機、巻頭言は京三嶺常務にお願いする。
- (6) 令和 5 年春叙勲
日本信号元社員、本林 ^{もとばやし} 勉 ^{つとむ} 氏の II 類叙勲の内示があった。正式には 4 月 29 日の発令となる。3 年ぶりに伝達式と皇居拝謁が行われる。
- (7) セーフティネット保証 5 号に係る業況調査について
[5 - 1] 3 公官庁関係に記載
- (8) 運営幹事会の予定、その他

2. 第 2 回(R 5. 5. 25)

- (1) 令和 5 年度 4 月度月次決算報告
本会員・賛助会員からの 4 月からの会費収入についての報告。支出は通常通り推移。
- (2) 令和 5 年春の叙勲
日本信号（株）元社員、本林 ^{もとばやし} 勉 ^{つとむ} 氏の瑞宝単光章が正式に発表された。
第 3 回理事会、第 3 号議案
- (3) 第 64 回定時社員総会、第 1 回・第 2 回理事会について
概要を報告。
- (4) 第 64 回定時社員総会行事について
表彰式（信号貢献賞・信号功労賞）、記念講演会、意見交換会は、通常通りとし盛会裡に開催された。
- (5) 会報第 52 号編集委員会
原稿内容の確認、依頼など。
- (6) 令和 5 年度鉄道関係功労者大臣表彰受賞候補者の推薦について
本年は候補者が不在の為、推薦は無い。
- (7) インボイス制度について
[8 - 2] 事業活動関係に記載
- (8) 国土交通省より鉄道行政関連の周知連絡

(9) 運営幹事会の予定、その他

3. 第3回(R5.6.22)

(1) 令和5年度5月度・月次収支報告

会費収入は順調に推移、雑収入で定時社員総会参加費を計上、支出は総会費用、租税公課で法人住民税を計上、ほか予定通り推移。

(2) 国交省関係の今後の予定（7月～8月にかけて）

令和6年春の叙勲候補者推薦の件・推薦書類など準備方について
陸運機器等に関する調査について
租税対応実態調査について

(3) 公官庁や他協会よりの情報提供

(4) 会報第52号の件

7月に発行する旨報告。

(5) 鉄道信号用装置・機器の耐用寿命に関する検討書（改訂第5版）について

原稿の進捗状況報告および費用部数の確認依頼

第3回理事会、第5号議案

(6) 運営幹事会の予定、その他

4. 第4回(R5.8.31)

(1) 令和5年度6月度及び7月度月次決算報告

会費入金は予定通り、支出は職員賞与、会長退任慰労金、会報の印刷費を計上し、ともに順調に推移している。

(2) 令和6年春の叙勲候補者推薦の件

第3回理事会、第4号議案

(3) 鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会（中間報告）

印刷部数の再確認など発行に向けた準備

第3回理事会、第5号議案

(4) 財務省主計局から国交省経由「租税特別措置の適応実態調査」の依頼

試験研究費に関する租税特別措置の利用状況に関する調査である。8月10日に中間報告を提出、8月18日に最終報告を提出。

(5) 国土交通省より陸運機器に関する調査（令和4年度分）

7月10日に国交省より正式に依頼があった。8月25日に22社中21社の報告書を提出した。

- (6) セーフティネット保証 5 号に関する業況調査依頼
 - [5 - 1] 3 公官庁関係に記載
- (7) 鉄道機器—電子部品・半導体不足意見交換会
 - [5 - 1] 4 公官庁関係に記載。
- (8) PCB 含有塗膜調査実施要領の改訂と調査の進捗状況
 - [5 - 1] 7 公官庁関係に記載。
- (9) 国土交通省より鉄道行政関連の周知連絡
- (10) 運営幹事会の予定、その他

5. 第 5 回(R 5 .9.28)

- (1) 令和 5 年度 8 月度月次決算報告
 - 8 月度月次決算では支出累計が 44%となっており、順調に推移している。
- (2) 国交省_令和 5 年秋の叙勲内示について
 - 第 3 回理事会、第 3 号議案
- (3) 2023 年 9 月の「価格交渉推進月間」の実施について
 - [5 - 2] 1 経済産業省関係に記載
- (4) PCB 含有塗膜調査実施要項の改定と調査の進捗状況について
 - [5 - 1] 7 公官庁関係に記載
- (5) 会報第 53 号について
- (6) 耐用寿命に関する検討書について
 - 第 3 回理事会、第 5 号議案
- (7) 国土交通省より鉄道行政などの周知
- (8) その他報告事項
- (9) 運営幹事会の予定

6. 第 6 回(R 5 .10.26)

- (1) 令和 5 年度 9 月度月次決算報告
 - 9 月度月次決算では支出累計が 50%となっている。
- (2) 令和 5 年度上期決算報告
- (3) 令和 5 年度第 3 回理事会・議案報告
- (4) 下請取引適正化推進月間 (11 月) への協力要請
- (5) 「セーフティネット保証 5 号に係る業況調査」
- (6) 国交省・JARTS などからの情報提供
- (7) 会報第 53 号 10 月度編集委員会

- (8) 鉄道信号用装置・機器の耐用寿命に関する検討書（改訂第 5 版）
- (9) 当協会 HP 関係の諸問題
- (10) (株)三工社様 甲府事業所テクノセンター火災に対する災害見舞金について
- (11) 令和 5 年電気関係受章者祝賀会と令和 6 年賀詞交歓会について
- (12) 運営幹事会の予定

7. 第 7 回(R 5.11.30)

- (1) 令和 5 年度 10 月度月次決算報告
10 月度月次決算では支出累計が 57%となっている。
- (2) 令和 5 年度第 3 回理事会及び第 51 回 S K G 報告
- (3) 第 8 回鉄道技術展
- (4) 令和 5 年電気関係受章者祝賀会（鉄道電気 3 協会共催）
- (5) 令和 6 年新年賀詞交歓会
- (6) 「セーフティネット保証 5 号に係る業況調査」報告の件
- (7) 令和 6 年秋の叙勲候補者推薦の件
第 4 回理事会、第 5 号議案
- (8) 令和 6 年度信号功労賞及び信号貢献賞候補者推薦の件
第 4 回理事会、第 6 号議案
- (9) 国交省・JARTS などからの情報提供
- (10) 会報 53 号編集委員会
- (11) 令和 6 年度の第 3 回、第 4 回理事会及び運営幹事会日程について
- (12) 運営幹事会の予定

8. 第 8 回(R 5.12.21)

- (1) 令和 5 年度 11 月度月次決算報告
11 月度月次決算では耐用寿命の検討書などの費用が計上され支出累計が 69%となっている。
- (2) 令和 5 年電気関係受章者祝賀会
- (3) 令和 6 年新年賀詞交歓会
- (4) 令和 6 年秋の叙勲候補者推薦の件
- (5) 令和 6 年度信号功労賞及び信号貢献賞候補者推薦の件
- (6) 運営幹事交代申請の件
第 4 回理事会、第 7 号議案
- (7) 会報第 53 号編集委員会

- (8) 国交省・JARTS などからの情報提供
- (9) 令和 6 年度の第 3 回、第 4 回理事会及び運営幹事会日程について
- (10) 報告事項
- (11) 運営幹事会の予定

9. 第 9 回(R 6 . 2 . 22)

- (1) 令和 5 年度 12 月度・1 月度月次決算報告
12 月度・1 月度の支出累計は予算比で 8 7 %でした。
- (2) 令和 6 年 賀詞交歓会中止の件
- (3) 令和 6 年 叙勲候補者推薦の件
- (4) 令和 6 年度信号功労賞・信号貢献賞候補者推薦の件
- (5) 令和 5 年度第 4 回理事会について
- (6) 会報第 53 号発行の件
- (7) JARTS・運輸総合研究所より情報発信
- (8) 国交省よりの情報提供
- (9) その他・報告事項
- (10) 運営幹事交代の件
- (11) 当協会の HP の問題
- (12) 今後の予定
- (13) 運営幹事会の予定

10. 第 10 回(R 6 . 3 . 21)

- (1) 令和 5 年度 2 月度月次決算報告
- (2) 令和 5 年度第 4 回理事会上程議案について
- (3) 令和 6 年第 1 回・第 2 回理事会、第 65 回定時社員総会について
- (4) JARTS・公官庁からの情報提供について
- (5) 当協会監事辞任に伴う新監事補欠選任についの件
- (6) 運営幹事会の予定

【4】QC連絡会

機器関連の事故例の検討および品質情報の共有

QC連絡会委員構成（R5.4.1 現在）

委員長 猪瀬孝道（日信）、日本信号 3 名、京三製作所 5 名、三工社 3 名、東邦電機工業 2 名、吉原鉄道工業 2 名、信号器材 1 名、大館製作所 3 名、てつでん 1 名、大同信号 3 名及び協会事務局 2 名の計 26 名。

1. 第 309 回（R5.4.19）、対面と WEB 会議合計で 出席者 19 名

新年度に当たり 5 月には新型コロナウイルス感染症が 5 類に分類されることから社会活動が活発になる事が予想される。そのような折に触車事故や新人による作業ミスなど重大事故も発生している。安全には終わりはなく決められた作業手順をまもって安全作業を推進してゆく事。今年度は安全管理にも重点を置き活動してゆくこととした。

2. 第 310 回（R5.5.24）対面と WEB 会議合計で、出席者 14 名

協会の社員総会が 5 月 19 日開催され、代表理事・会長に（株）京三製作所の^{くにさわ}國澤社長が就任したことを報告した。各社より品質情報や QC 情報の報告、ISO 関連の監査報告のほかに、信号 QC 連絡会の新たな活動テーマについて説明と議論があった。また、富山地方鉄道での触車事故の報告があった。

3. 第 311 回（R5.6.21）、対面と WEB 会議合計で 出席者 16 名

今年度の新たな活動テーマとして現場機器の経年劣化検討など 8 項目が挙げられそれぞれのテーマを選ぶか次回までに検討することとなった。また相模線で作業員が線路内に立ち入った事象の説明があった。

4. 第 312 回（R5.7.20）対面と WEB 会議合計で 出席者 18 名

夏になり自然災害の猛威がふるっている。秋田での大雨、千葉での台風被害、復旧作業に人手を取られて全体に作業工程が遅れており、安全注意喚起が薄れている。安全には確認作業が改めて重要である旨再確認した。今年度の新たな活動テーマとして、「20XX 年問題」「鉛フリーハンダ使用の現状と今後の活用」「QC 連絡会の有り方」の 3 項目について次回から各社が報告することとした。

5. 第 313 回（R5.8.23）対面と WEB 会議合計 出席者 17 名

8 月 5 日に大船駅構内で電車と電化柱が衝突する事故が発生した。幸いにも死者はいなかったのが不幸中の幸いであった。倒れた電化柱は 1980 年ごろ設置されたもので、取り換え周期 60 年には達していなかった。外観チェックは行っているが事故に至ってしまった。事故には背後要因があり必然性があるので詳しい調査が必要である。

6. 第 314 回（R5.9.20）対面と WEB 会議合計 出席者 19 名

和歌山県串本から那智勝浦程の八郎山トンネルの施工不良の件は、施工側（元受・下請）間の意思の疎通の無さ、発注側の確認作業をしていないなど大きな問題が山積していた。人員不足が背景にあるようであるが決められたことを確実に実施してゆくことが改めて大事であることを認識した。

7. 第 315 回（R5.10.13）対面と WEB 会議合計 出席者 15 名

今回は研修会ということで大館製作所様へお邪魔している。QC連絡会が終了しましたら工場見学をさせていただく事になっている。また鉛フリーハンダについて、評価項目や材料について意見交換がなされた。

8. 第 316 回（R5.11.21）対面と WEB 会議合計 出席者 18 名

11 月は品質月間となります。今年のテーマは「原点回帰人づくりと強い現場で作る新時代の品質」となっています。変えなければならぬもの、変えてはいけぬものを峻別し棚品質の為のパラダイムを探索して、顧客を満足させて品質を創造するには何をすべきかを、改めて見つめようというメッセージです。

9. 第 317 回（R5.12.20）対面と WEB 会議合計 出席者 16 名

自動車会社が不正の為に製造を止める事態となっています。不正はいずれ判るので常日頃より不正は絶対起こさないことを意識しなければなりません。他山の石ではなく自分たちの問題として取り組む必要があります。

10. 第 318 回（R6.1.24）対面と WEB 会議合計 出席者 19 名

年明けから地震や JAL などの事故のニュースからの年明けとなった。この中で日ごろの訓練の賜物である行動で犠牲者を出さなかったということは、いかに身の入った訓練が重要であることを再度認識させられた。作業手順を守って良い品質の製品を作り続けることが重要である。

11. 第 319 回（R6.2.21）対面と WEB 会議合計 出席者 17 名

1 月 23 日に発生した上越・北陸新幹線架線故障による運転見合わせと点検・対策について報告があった。ただし同時に発生した感電事故については情報が開示されていない。どのような作業でも基本を守ることが大切であるが、「これくらいは大丈夫だろう」の行動が危機を生むとのこと。

12. 第 320 回（R6.3.19）対面と WEB 会議合計 出席者 17 名

北陸新幹線開業や北大阪急行延伸など鉄道にとって明るいニュースがあった一方、国交省から JR 北海道に対して「監督命令」が出され、火事路線が切り捨てられてゆく懸念もあります。昨今事故による運転障害も発生しており、より一層の注意が必要である。

【5】官公庁関係

[5-1]国土交通省関係

1. 陸運機器等に関する調査表の提出

国交省(及び経済産業省)では業況把握及び政策立案のため、鉄道車両、鉄道車両部品、信号保安装置等(以下「陸運機器等」と表現します)の生産額、販売額及び輸出額などを毎年7~8月に調査している。

今年は7月10日に鉄道局車両工業企画室から「陸運機器等に関する調査(令和4年度分陸運機器調査表)」の提出依頼があり、協会正会員22社に調査協力をした結果、21社(8月決算の峰製作所は別協会から提出)から回答を得た。

〆切の8月25日には17社分を最終的に21社の調査表を国交省に提出した。

2. 試験研究費に関わる租税特別措置の適応実態調査書の提出

本調査は財務省主税局指示により国土交通省鉄道局車両工業企画室経由で各工業界宛に発信される調査依頼であり、本年は8月7日に調査依頼があった。

内容は「試験研究費に関わる租税特別措置」の利用状況調査で令和2~4年度実績及び令和5年度見込み分の調査である。今年度は京三製作所、日本信号、大同信号、三工社の4社分のデータを期日までに提出した。夏季休暇中にもかかわらず前倒しされた日程であったが各社のご協力に感謝する。

3. セーフティネット第5号に基づく業況確認について

セーフティネット保証5号は、全国的に業況の悪化している業種を国が指定し、当該業種に属する事業を行う中小企業者が経営の安定に支障が生じている場合につき、市区町村長の認定を受けることで保証を受けられる制度で、市区町村の認定を受けた中小企業・小規模事業者は、金融機関からの借り入れを行う際に信用保証協会の特例保証(一般保証とは別枠で借入額の80%を保証)の利用が可能になる制度である。売上高等の減少(最近3ヵ月間の売上高等が前年同期比で5%以上減少している等)によって経営が悪化した中小企業者がセーフティネット保証制度第5号による支援を受けるには、その企業の主たる事業がセーフティネット保証5号の「指定業種」であることが前提条件となることから、国交省に対して管轄の業界団体を経由して各企業の四半

期ごとの業績を調査している。

本年の業態調査は5月8日、8月4日、11月9日、2月6日締め切りで依頼されたが、当協会では毎年の陸運機器調査を参考に、各会員企業の要請の有無により業種指定に係る希望の有無を報告してきた。今回も同様に精査し、「希望無」を報告した。

4. 鉄道機器—電子部品・半導体不足意見交換会について

国土交通省鉄道局、経済産業省商務情報政策局の主催で、鉄道産業界、鉄道事業者、半導体産業界、半導体商社団体、行政機関が参加して、8月2日に対面19名、Web参加20名により「鉄道機器—電子部品・半導体不足意見交換会」が開催された。会議の目的は（1）状況の共有と（2）調達力強化に向けた半導体業界からのアドバイスである。鉄道局と鉄道事業者より鉄道固有の問題や現状の対応策を含めた情報提供が行われた。その後、海外製品について半導体商社団体から事前に提供した長納期部品リストに基づき、「電子部品・半導体 availability リスト」が提示された。これによると正規代理店に在庫有り30%は、流通在庫有りが28%、在庫なしが42%であり、特に42%は「衰退品」と定義されており新規設計が見込めない。早急に次世代に変更することが重要であるとのアドバイスがあった。その他意見交換を経て、最終的に業界同士のコミュニケーションが重要であるという認識で一致し、具体的な個社間での協議に生かす事とした。

5. 令和5年春・秋の叙勲受章者について

第3回理事会、第3号議案

6. 令和6年春の叙勲候補者推薦について

第3回理事会、第4号議案

7. PCB含有塗膜調査実施要項の改訂および調査の進捗状況（R5年3月末時点）
環境省より国土交通省鉄道局経由でポリ塩化ビフェニル（以下PCBという）含有塗膜の調査実施要項（第3版）の周知依頼と作業依頼の指示があった。PCB廃棄物は「PCB廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」に基づき保管事業者は処分期間内の処分が義務付けられていることから本調査実施要領（第3版）により、調査を進めるとのことである。本件につき当協会22社に対し調査依頼を行ったところ、全社から「該当なし」の連絡を受けたため、9月13日に国土交通省鉄道局へその旨報告をした。

8. 令和6年秋の叙勲候補者推薦について

第4回理事会、第5号議案

9. RQMS 協議会（鉄道局 技術企画課 車両工業企画室）

鉄道品質マネジメントシステム（RQMS）については、一昨年より RQMS 協議会が発足され当協会からも日本信号(株)森貞晃^{もりさだひかる}氏、(株)京三製作所畑好之^{はたよしゆき}氏、大同信号(株)加納政貴^{かのうまさき}氏の3名が委員として選出され参加している。

昨年より各課題について専門的に検討するチームが立ち上がり、本年度第1回の RQMS 協議会・検討チームの合同会議が令和5年12月21日に開催された。議題は①2023年7月25日に ISO22163（鉄道品質マネジメントシステムで ISO9001 に鉄道固有の要求事項を追加したもの）正式発効に伴う状況について
②ISO22163 正式発効に伴う IRIS 側の動きについて
③RQMS 認証制度構築に関わる調査作業グループの報告
次回は令和6年5月上旬を開催予定である。

[5-2] 経済産業省関係（国土交通省・中小企業庁）

1. 「価格交渉促進月間」の実施について

現在政府では成長と分配の好循環を生み出すべく、民間企業による賃上げの為環境整備に取り組んでいる。下請け企業が付加価値を確保できるよう、コストの適正な価格転嫁が不可欠である。原材料価格やエネルギー価格、労務費などが大きく上昇しており下請け企業へのしわよせを解消しこれらコスト上昇による負担をサプライチェーン全体で適切に分担するためにも価格転嫁は喫緊の課題である。毎年9月と3月を「価格交渉月間」と定め、下請け事業者からのアンケート等によってフォローアップ調査し結果を公表するほか取引適正化に向けた取り組みを強化する。以上会員企業に周知徹底していただきたいとの要請を受けた。8月31日に会員企業各社へメールにて周知した。

【6】他省庁・他協会関係

1. 令和5年電気関係受章者祝賀会（R5.12.8）開催

鉄道電気3協会共催（日本鉄道電気技術協会、鉄道電業安全協会、信号工業協会）の祝賀会については、叙勲受章者5名、来賓・一般を含め100名を超えた参加者により盛大に開催された。

【7】海外技術協力等

1. 海外鉄道技術協力協会（JARTS）（R4.6.15）

第58回定時社員総会が開催され、2022年度事業報告、収支決算報告、2023年度事業計画、収支予算、役員を選任などの議案が審議された。

【8】事業活動関係

[8-1] 会報の発行

会報第52号（令和5年7月）を発行した。巻頭言には株式会社京三製作所 常務執行役員 信号事業部長 領 孝志^{みね たかし}様にご寄稿いただいた。技術解説、海外における関連会社の紹介、信号以外の分野紹介、新製品紹介など協会会員会社のプレゼンスを高める記事を掲載した。また、コラムとして信号機・信号機制御に焦点を当て、読みやすく信号工業協会ならではの興味深い記事を提供した。

会報第53号（令和6年1月）も引き続き発行した。巻頭言は大同信号 株式会社顧問 平井 俊雄様にご寄稿いただいた。第8回鉄道技術展 出展報告など多彩な記事を提供した。

[8-2] インボイス制度について

当法人は非営利形法人で税務署に届け出ている。また、当法人の収入は会費、銀行利子などで、消費税の課税対象ではない。

国税庁のHPにも、「その団体の業務運営に必要な通常会費については一般的に対価関係がありませんので同業者団体や組合などは資産の譲渡などの対価当たらないものとして取り扱って差し支えない事とされており、この場合にはその構成員においてはその通常会費は課税仕入れとならず、仕入れ課税の対象になりません」以上のことから当法人はインボイス発行事業者の登録は行わない事としたことを第2回運営幹事会にて確認をした。

[8 - 3] 信号工業協会表彰

令和 5 年度の協会表彰は信号貢献賞 2 名、信号功労賞 9 社 9 名の方々が受賞した。

■ 信号貢献賞

	受賞者名	会社名	協会役員歴
1	つかもと ひでひこ 塚本 英彦	日本信号(株)	代表理事 2 年
2	みね としあき 峰 敏晃	(株)峰製作所	監事・理事通算 5 年 11 ヶ月

■ 信号功労賞 9 社 9 名

番号	受賞者名	推薦会社名	部署・役職
1	むとう あきひこ 武藤 明彦	大同信号(株)	技術生産本部 第二技術部 次長
2	くらもと かつや 倉本 克也	吉原鉄道工業(株)	生産管理部 次長
3	しまだ まさのぶ 嶋田 雅信	(株)京三製作所	信号事業部 グローバル企画・営業部 専門課長
4	ばん かずや 伴 和也	(株)峰製作所	君津構内出張所 担当課長
5	いけうち としお 池内 俊雄	日本信号(株)	久喜事業所品質保証部品質規格 G NS マイスター
6	しゅうぎょう みちあき 修行 道明	(株)てつでん	生産本部 資材部 担当部長
7	さとう ひろゆき 佐藤 宏行	(株)西村電工	製造部 電気係長
8	おがわ かなこ 小川 香奈子	(株)三工社	品質保証部 品質保証課 主査
9	ひろしま ふじお 廣嶋 富士夫	東邦電機工業(株)	品質保証室 検査部

[8 - 4] 三工社様の火災に対する災害見舞金について

当協会会員企業である(株)三工社様 甲府事業所テクノセンターにおける火災が 9 月 22 日に発生しました。当協会は慶弔見舞金規定により「会員企業が不慮の災害に被災した場合は災害見舞金を贈与する」ことが規定されています。よって、10 月 25 日に災害見舞金を贈与しました。

[8 - 5] 第 8 回鉄道技術展への協賛団体での参加

2023 年 11 月 8 日から 10 日までの 3 日間、幕張メッセで開催された第 8 回鉄道技術展へ協賛団体として参加しました。開会式には当協会代表理事である日本信号(株)の塚本社長も出席され盛大に開催されました。

[8 - 6] 令和 6 年賀詞交歓会の中止について

令和 6 年 1 月 4 日に開催予定であった令和 6 年賀詞交歓会は、1 月 1 日 16 時頃発生した石川県能登半島を震源とする能登半島地震の対応などで急遽中止となった。

[8 - 7] 鉄道信号用装置・機器の耐用寿命に関する検討書

「鉄道信号用電子機器の耐用寿命に関する技術委員会」の解散と「鉄道信号用装置・機器の耐用寿命に関する検討書」（改訂第 5 版）については、第 3 回理事会で報告の通り、10 月に検討書を発刊した。このことから 10 月末をもって、技術委員会を解散した。

[8 - 8] ホームページの維持管理、問題点と対応

協会ホームページは適時更新をしています。4 月以降 3 月までに下記項目の更新を実施した。

- ① トピックスを最新 1 年間の行事に更新
- ② 役員名簿の更新（会社役職の変更）
- ③ 事業報告・会計報告の令和 4 年度分を掲載
- ④ 新事務所の案内図更新
- ⑤ 会員ページの「行事予定」に今後 1 年間の行事を掲載
- ⑥ 会員ページに総会終了後の令和 5 年度信号功労賞受賞者の名簿を貼り付け
- ⑦ その他

【問題点と対応】

当協会は NTTcom のメール & Web ビジネスというサービスでメールと HP の運用を行っている。NTTcom よりセキュリティー向上を目的とした HP 作成ツール（以下 Wordpress）とデータベースのバージョンアップに対応するように指示があり、7 月に作業を行ったが一部表示不具合が出たので再度作業を行った結果、目的であったバージョンアップは完了しなかった。よって、専門業者に状況を説明するとともに修復作業にあたった。その結果サイトの復旧（データベースの修復）、php8.1 へのバージョンアップ、Wordpress のアップデート、アップデートに伴うソースコードの修正作業をおこない、年度内に当初の目的を達成した。来期に向けては定期的なメンテナンス体制の確立、HP のリニューアル、セキュリティー対応などを進めてゆくこととした。

以上